

「ウクライナ難民 戦火から逃れろ

眠り込む妹ちゃんを抱いて、壁の母親。母娘の寝顔と今後の不安を抱えている=10月、フルシャツ東京構内(丸山義和さん撮影)



ロンドのアーチン監獄からの脱獄で、ライナから女性ヤリモチたちが脱出しています。国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)によるところ、ライナからの難民は、一日当たりで500万人。難民ボートは、ハドニアの船「あたみ」の乗客が難難している。同様に住む難民園の取材を続けるルボライターの丸山美和さんが見た光景とは。

ポーランド

ルボライタ
丸山繁和さん

子ども笑顔消えた

「お前は、お前が何をやるかわからん。」
「継続」一緒に遊ぶんだだけ。
とまらないで笑わなかつた。
小学校で出来の子とおなじ

「おまえがたのう事は、ハラハラするわ。」
「おまえがたのう事は、ハラハラするわ。」

もが国外への逃避を余儀なく
された。これが、
駆逐艦の乗組は支那で奇
せられた船の乗組を本船に
からであります。子ともだち
は、無表情で遊んでいました
。フルシヤツの小学校は、たかくは課題が重いのにこなす

通の轟くことをせなけれ
ばいけない。戦争が何の罪
もない子供もたぐりついで

安心できる場の確保こそ



「ウクライナの戦争が始
始ってから街で実感を貰
る」とかなんだった。山根
さん。離婚は今から2年
を埋れた母親の姿が目に浮
きます。「父親は戦闘に備え
頑ななきやうけなし。母親
は手と心を守るために品が
けで離婚してきてしまった」
山根、「セツビヤムジヨウ

れてきたか? イナの人がいたのです。実験のない手術がまだや、はつらう手術がなんを死んであります母親の病院で開てた顎がそこにはあります。

住居・菜・お金を

持つ者では、避難民に差し出します。

駅構内の待合室で、子どもたちが大人と一緒に遊ぶ。そして清潔な環境では、「一日、ワルシャワ中央駅構内」(丸山美和さん撮影)

1面のつづき

ウクライナからの避難民が到着するポーランドの首都ワルシャワの東駅構内。支援物資が置かれたブースが並んでおり、食べ物や衣服、生理用品など自由に取ることができます。地元の人たちが手作りのサンドイッチや焼き菓子、購入した日用品などを思い思いに

ボーランド在住の丸山美和さんは、自作体が作成する難民支援団リストに登録しました。登録時に支援内容の一覧から「自分のできること」をチェックを入れます。その支援が必要になった場合に連絡がくるといいます。

</